



みだっ子 NO20

がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標

こころゆた あか じっこうりょく
心豊かで、明るく、実行力
のある子の育成

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp./esmida/>

TEL385-0506

FAX 385-0815

あき よなが どくしょ と く 秋の夜長、読書に取り組みましょう！

朝晩の肌寒さとともに、秋の深まりと冬の到来を感じる季節となりました。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、一年の中でも過ごしやすい季節である秋は、いろいろなことに取り組みやすい時季です。今回は“読書の秋”にちなんで、お薦め本を6冊紹介します。

こうがくねんむ
＜高学年向け＞

- ・「モモ」 著：ミヒヤエル・エンデ 出版社：岩波書店
映画化や舞台化もされている名作。モモに話を聞いてもらおうと、町の人は幸せな気持ちになります。ある日、街に「灰色の男たち」が現れ、人々から「時間」を奪いました。そして、モモにも魔の手が忍び寄ります。時間というものを考えさせられる作品です。
- ・「注文の多い料理店」 作：宮沢賢治 絵：広瀬雅彦 出版社：講談社 青い鳥文庫
宮沢賢治の有名な短編「注文の多い料理店」のほか、古い家の屋根に住むねずみが主人公の「ねずみのツェ」など、詩や童話の15作。読書が苦手な子にも読みやすい短編本です。

ちゅうがくねんむ
＜中学年向け＞

- ・「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」 作：廣嶋玲子 絵：jyaiya 出版社：偕成社
店主の紅子は、主人公に「駄菓子の説明は必ず読んでください。食べ方を間違えると、どうなるかわかりませんからねえ」と念を押します。登場人物たちが、不思議な駄菓子を通して様々な体験をする物語です。
- ・「エルマーのぼうけん」 作：ルス・スタイル・ガネット 絵：ルス・クリスマン・ガネット 出版：福音館書店
一匹の年老いた野良猫との出会いから、ある島に囚われている龍の子の話聞いたエルマーが、猛獣のいる「動物島」へ旅立ち、数々の困難を知恵と勇気で乗り越えていく心温まるストーリーです。

ていがくねんむ
＜低学年向け＞

- ・「りんごかも しれない」 作：ヨシタケ シンスケ 出版：プロンズ新社
ある男の子がテーブルにあるりんごをみつけることから、物語は始まります。りんごを見て「これはりんごじゃないかもしれない」と次々に妄想を繰り広げていく男の子の物語です。大人が思いつけない発想をユーモラスに描いています。
- ・「おしりたんてい ラッキーキャットはだれのに！」 作：トロール 出版：ポプラ社
テレビアニメでも人気の「おしりたんてい」、細かな仕掛けや謎解き、迷路などが登場します。低学年には、少し文字数は多めですが、読みやすいため、長い文章を読むことへの挑戦には最適です。

スポーツの秋、文化の秋を実感する出前授業でした！

1・2限目、4年生の子どもたちを対象に、鈴鹿市スポーツ推進委員の方々から、ニュースポーツ“ティーボール”と“ファミリーバドミントン”の出前授業をしていただきました。リズムストレッチで身体をほぐし、その後、各クラスに分かれそれぞれの競技を行いました。

運動場でのティーボールでは、初めて体験する競技でバットの振り方やボールキャッチで戸惑う子もいましたが、徐々に慣れてくると、ハツラツとした動きが見られ、競技を楽しむ姿が見られました。また、体育館でのファミリーバドミントンは、シャトルの先端が直径5cmほどの球形のスポンジになっているため、ラケットに当てやすく、ラリーが続けやすいことから初心者でも、楽しめる競技でした。スポーツの秋を存分に楽しんだ4年生でした。



3・4限目は、文化の秋を感じる時間となりました。3年生は、社会科で地域の伝統行事を学びます。ここ箕田地区には、“箕田の虫送り”というお祭りが、長年にわたり伝承されてきています。

下箕田地区で同行事の保存に関わってみえる方々に来ていただき、祭りの実演と伝承に関する歴史的なお話もしていただきました。実演では、大きな和太鼓と横笛、鐘で拍子をとって、威勢のいいかけ声と飛び跳ねる勇ましい動作を披露していただきました。また、太鼓を叩くリズムやかけ声や動作も体験でき、会場は大いに盛り上がりました。

代表の一尾次男さんからは「子どもたちは、すぐ覚えるわ!」と褒めていただきました。会場には、古写真も展示していただき、以前は箕田の海岸で行われ、重機もない時代には、10m以上もある松明をはしごを使い、苦勞して立てたエピソードなども説明いただきました。当日、実演でお世話になりました皆様、有難うございました。

